

## 情報基盤部門活動報告

大野 浩之  
井町 智彦  
北口 善明

### 1. はじめに

情報基盤部門は、基幹ネットワークの構築・維持・管理を担当する部門です。

金沢大学のネットワークは、全国的に見ても比較的早期に充実し、その後現在に至まで拡充の一途をたどっていますが、その反面で早期に導入した機器類の老朽化・陳腐化や、ネットワークの拡充・サービスの多様化に伴う設備スペースおよび電源環境の不足等の問題が顕在化してきています。

情報基盤部門では、情報戦略本部と連携しつつ、学内ネットワークの機能維持および更なる拡充に努めています。以下に、2009年度に行った取り組みのうち、主なものを紹介します。

### 2. 2009年度の主な取り組み

#### 基幹ネットワークの更新

本学の基幹ネットワークを構成する設備は、そのほとんどが平成13年度前後に導入されたものであり、老朽化によりその安定性に懸念が生じ始めていると共に、性能・機能についても最新の機器と比較すると劣る面があることは否めない状況にあります。この問題に対し、情報戦略本部主導のもと、基幹ネットワーク機器類の順次更新を計画・実施しています。

#### メール配信系の改善

電子メールを取り巻く環境は、いまだ抜本的な改善の兆しが見えず、全メールに占める迷惑メールの割合は相変わらず99%前後を維持しており、メールの数量も増加の一途をたどっています。本学ではコンピュータウイルスや迷惑メールへの対応を実施していますが、時としてそれに起因するメール配信の遅延等が発生しています。この問題に対し、配信系のヘルスチェック強化や、機器更新による各種チェックの性能向上等、問題発生確率の低減および発生時の即時解決に向けた取り組みを、継続的に行っています。

#### 学外者用ネットワークの改善

学会参加者の一時的利用などを目的に提供中の学外者

用ネットワークKAINS-Eについて、配備および運用の汎用性を向上させた新システムの開発に取り組んでいます。

#### サーバ機器の省スペース・省電力化

ネットワークサービスの発展にともない、その維持に要するサーバ機器の台数も増大し、機器収納スペースと電力の確保が大きな問題となっています。この問題に対し、サーバ機器のブレード化と仮想化技術の応用で解決に取り組んでいます。

#### IPv6 対応

現状主流のIPv4アドレスが世界的に枯渇状態となり、IPv6本格活用の現実味が高まっています。本学においても全学的なIPv6利用環境整備に向けて、取り組んでいます。